

花きの県別生産出荷概況(1月見通し)

令和3年12月28日現在  
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		1月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
				期間		出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬		
				(ピーク)	(前年比)	千本	千本					
バラ	群馬県	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	11.5 (98%)	545 (100%)	370 (100%)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村	気温の低下により喚起の頻度が下がったことで、積極的に炭酸ガス施用を行い、品質は良好。作付面積は横ばいで平年並みの出荷を見込む。
	茨城県	施設	サムライ アヴァランチェ アイリーン ほか	周年	2.8 (100%)	150 (100%)	100 (100%)	20	30	50	古河市 石岡市 茨城町	・生育は平年並。 ・12月下旬現在で茎立本数が少ないため1月下旬中心の出荷となる見込み。 ・病害虫の影響は特になし。
ストック	千葉県	施設		11~4月 (2~3月)	38 (100%)	2,280 (106%)	1,340 (106%)	40	40	20	館山市 南房総市 鴨川市 鋸南町	・生育は順調。12月に入り低温の日が続くため開花スピードが緩慢になり、長さがあり硬い、品質の良いストックが出荷される見込み。なお、12月上旬の冷え込みにより、年内出荷分が後ろにずれ、年明けはやや量が潤沢になる可能性がある。 ・神戸地区はカルテットシリーズ、西岬地区はアイアンシリーズを中心に出荷の見込み。色は白が多いが、チェリーやマリン、ピンクの量が徐々に増えていく見込み。

花きの市場別販売概況(1月見通し)

令和3年12月28日現在  
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状		例年以上に赤系の引き合いが強く、価格の上昇も早い。ブライダルもコロナで延期になっていた分があり、例年以上に引き合い強まった。輸入はコロナの影響で不安定ではあるが、メイン国のケニア、エクアドル産は順調に入荷(大田)。山形、栃木、群馬、静岡より少なめの入荷が続き、赤白は高値相場、品薄感から強保合相場(FAJ)。業務需要の回復と天候不順による品薄感で引き合いが強めの販売状況(東日本板橋)。
	見通し	大田花き	重油高の為、例年以上に入荷量は少ない見込み。西南暖地も栽培温度を下げる可能性があり、不足感が出る見通し。輸入品の入荷量は、コロナの状況次第となる。
		FAJ	栃木、千葉、静岡など。高冷地が減少し、少な目の入荷の見込み。数量少なく安定した保合相場。
		東日本板橋花き	燃油高による暖房の焚き渋りで各産地だらだらとした出荷。やや少なめの入荷量が続く見込み。
アルストロメリア	現状		愛知中心の入荷。東北・北海道の産地は、低温もあり出荷量少ない状況となった。葬儀・ブライダル需要あり相場は安定。下旬にかけては、年末需要と葬儀業者の休市に向けた問い合わせ多くなり、需要が高まった(大田)。長野、山形、岩手より入荷。平年並みの数量で11月からの好調相場を維持したまま年末需要へ(FAJ)。愛知中心の入荷。昨年並みの出荷量(東日本板橋)。
	見通し	大田花き	重油代の高騰もあり、数量は少ない見通し。愛知・長野中心の出荷が続く。
		FAJ	長野中心に山形、熊本、岩手より入荷予定。平年並みの数量を予定も今後の天気次第。
		東日本板橋花き	愛知中心の入荷。昨年並みの出荷量の予定だが天候次第で入荷増減あり。
ストック	現状		山形が前進開花してしまった為、数量少ない状況。千葉は台風被害から復活し数量出ているが、全体の流通量は少なく、不足感があった。需要面では、20日頃から年末需要で活発な取引となった(大田)。千葉中心に山形、秋田、福島より入荷。11月後半の冷えと前進で数量減。特にST品種は単価高(FAJ)。
	見通し	大田花き	千葉主体の産地構成となり、安定入荷が見込まれる。需要面では落ち着いた動きとなる見通し。
		FAJ	千葉、山形中心に福島、和歌山等より入荷。数量は回復の予定も今後の天気次第。